

平成 26 年 8 月 25 日 『祝！ 第 20 回記念・名人に学ぶ教育講座 in 宇和島』

## 『われは草なり』（光村小 5 教材）の鑑賞指導（案）

日時 平成 26 年 8 月 25 日（火）9:15～10:00（45 分）

児童 小学 5 年生和霊小児童／授業者 柳谷直明（妹背牛町立妹背牛小学校長）

- 1 教材名 詩を楽しもう 『われは草なり』（光村国語五 銀河）
- 2 本時の目標 効果的な「学習用語」を指導し行為させ，作品価値を読ませる。
- 3 本時の指導事項（以下，「学習用語」はゴシック体で網掛けにした。）
  - (1) 詩——連（行空け，起承転結，山場）。
  - (2) 価値——話者，文語，定型，リズム，歴史的仮名遣い。
  - (3) 主題——中心心情，深層義。
- 4 本時の展開

配分	児童の学習活動	教師の働きかけ	留意点
0 分	1 学習意欲の喚起 よく分からない詩だ。分かるようになりたい。	1 学習意欲の喚起 文種は詩である。何を伝えたいか分かる人は○。よく分からない人は×。	作品の価値——文語詩（文語を使った詩），定型（一定のリズム），歴史的仮名遣い（古い仮名遣い）。
3 分	2 山場の限定 作者が草になり切って書いた詩だ。 草の強さ，生命力を書きたかったのか。 4 連の詩だ。 3 連目が山場だ。 後の 2 行は重要だ。なぜなら，心情だから。 3 連目の心情は「願ふ」だ。	45 分間で分かるようになるのを楽しみにしよう。 2 山場の限定 高見順は草か。なぜ，草が話題なのか。犬でもよいのか。 なぜ，行が空いているのか。 4 連の中で山場はどこか。 3 連目が起承転結の転であり，山場である。 先の 2 行と後の 2 行のどちらが重要か。なぜか。 表層義は緑が濃くなることだ。それは更にどういう意味か。	3 連が山場の根拠。この連だけ 4 行。主人公の草の願いが書かれている。「緑の深き」までが「伸びる」，以降が「生きる」になる。 自分の考えをメモ，「授業作文」を書いたか。
25 分	3 主題 草の強さへの憧れ。 成長への願い。 生きる喜び。	3 主題 作者の願いは何か。作品の登場人物，中心心情，深層義から主題を決める。	
35 分	4 表現 「学習用語」を用いて考えた主題を書く。	4 表現 「学習用語」を表現する。ここでは，「授業作文」に書く。	

- 5 本時の評価 効果的な「学習用語」を指導し行為させ，作品価値を読ませたか。